



1 家族経営における畜産DX推進事業について

畜産経営における労働負担の軽減や生産性の向上等に向けて、ITやAI（人工知能）技術を活用した、畜産のデジタルトランスフォーメーション（畜産DX）を畜産経営の現場で推進することは、時代の大きな流れと言えます。

しかし、畜産におけるDX技術の導入は始まったばかりのため、妥当な判断基準がないまま投資が進むと、固定化負債の発生など、経営的に課題を抱える経営を生み出しかねない危険性があります。

また、わが国の畜産生産の大宗を占める家族経営では、家族労働費を含めた「所得」概念が経済性を判断する基準であることから、畜産におけるDX技術の推進のためには、「所得」概念に沿った経済的指標と投資の妥当性判断の手法を開発し、経営者と支援者に分かりやすく提示することが必要となります。

そこで本事業は、JRA日本中央競馬会からの助成をうけて、令和3年度から3カ年事業として本力イドブックに事例紹介されている7県の畜産協会とタッグを組んで、畜産DX技術の実証・調査分析事業を実施し、畜産DX技術の導入が労働負担軽減や所得向上に与える効果を調査分析し、その導入効果を評価することにより、家族経営における畜産DXの推進を図り、魅力ある家族経営の育成に資する目的で実施してきました。

本ガイドブックの使い方

本ガイドブックは、全国のような家族経営体の中で導入されている畜産DX技術の労働負担軽減や所得向上に与える効果について、7県の畜産協会を中心に生産者、大学等の支援組織、メーカーが連携して評価・検証した8事例を「4 調査・分析事業の事例紹介」として取りまとめています。

畜産DX技術は、家族経営体にとって新しい技術であり、馴染みの薄いことが多く、また高額な初期費用と維持費が必要な技術もあります。そのため、畜産DX技術の導入は慎重に行うべきであり、導入にあたって留意すべきポイントを、本ガイドブックに掲載されている調査・分析事業の事例紹介結果から抽出して「3 畜産DX技術の選定・導入前」にあたって留意すべきポイント」に記載していますので、畜産DX技術の導入を考えている畜産経営の経営改善や経営指導、畜産DX技術の製品開発・営業等の場面で参考にしてください。

また、各DX技術の導入前検討事項から導入後に至る経営、経営効率などの改善効果の評価シート（試案の作成については、プロトタイプ作成となっていますが、様々な経営体の中で多様な畜産DX技術が用いられることになり、今回作成された評価シートを基に各事業体で最適化を図り利用されていくことを期待しています。



CONTENT

| | | |
|----|-------------------------------|----|
| 1 | 家族経営における畜産DX推進事業について | 1 |
| | 本ガイドブックの使い方 | |
| 2 | 近年の畜産DX技術について | 4 |
| 3 | 畜産DX技術の選定・導入前にあたって留意すべきポイント | 12 |
| | 適正な畜産DX導入の判断基準・評価基準シート(試案)の作成 | 17 |
| 4 | 調査・分析事業の事例紹介 | 29 |
| 01 | 茨城県の導入事例 | 30 |
| 02 | 千葉県の導入事例 | 34 |
| 03 | 山梨県の導入事例 | 40 |
| 04 | 和歌山県の導入事例 | 48 |
| 05 | 岡山県の導入事例 | 54 |
| 06 | 熊本県の導入事例 | 68 |
| 07 | 鹿児島県の導入事例 | 78 |